

11番 原田 靖 議員

1 鹿屋市国民保護計画について

- (1) 台湾情勢の悪化など安全保障環境が厳しさを増す中、「有事の際、基地のある鹿屋が攻撃されるのではないか」と言った市民の声がある。
今後、鹿屋市国民保護計画の実効性について、どのように高めていくか。

2 中学校の制服について

- (1) 人口の約5%から7%程度がLGBTなどの性的マイノリティであると言われている。そのような時代背景にあつて人権教育の観点からも配慮し、中学校において男子生徒は詰め襟、女子生徒はセーラーにスカートという制服にとられない制服の選択制を推進していく考えはないか。
- (2) 「制服問題」は子どもの権利という視点から考えても喫緊の課題であるという認識を持ち、全校的に推進していくために財政的支援は考えられないか。

3 部活動について

- (1) 部活動の教育的意義、現状・課題を示されたい。
- (2) 外部指導者の導入状況、合同部活動、地域クラブとの連携等、推進はどのように図られているか。また、その課題について示されたい。
- (3) 学校の働き方改革を踏まえた部活動はどのように変わってきたか。
- (4) 「部活動地域移行」について、長い歴史を持つ部活動の改革には大きなエネルギーが必要である。
都市部と違い地方自治体は受け皿となるクラブ、地域団体など指導者確保一つ取っても多くの課題を抱える。
そのためには、早い段階から鹿屋市独自の部活動地域移行に向けたプロジェクトを立ち上げ、調査・研究、具体的なロードマップを策定すべきと思うがどうか。